

# 宮城県防災会議 第4回東日本大震災検証・記録専門部会 議事要旨

## 1 専門部会の概要

日時：平成26年1月14日（火） 午前10時から11時20分まで

場所：宮城県庁行政庁舎 9階 第一会議室

出席者：石森 建二 宮城県総務部 危機管理監  
平川 新 東北大学 災害科学国際研究所 所長（教授）  
今村 文彦 東北大学 災害科学国際研究所 副所長（教授）  
芳賀 一夫 東日本電信電話（株）宮城支店 設備部長  
高橋 隆弘 東北電力（株）宮城支店 企画管理部門主査  
武藤 徹 東北地方整備局 企画部企画課長補佐  
阿部 仁 陸上自衛隊 第22普通科連隊 運用訓練幹部  
佐々木 三郎 南三陸町 危機管理課長  
花海 秀樹 仙台市消防局 警防部警防課長

## 2 議事次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題
  - (1) (仮)「宮城県東日本大震災検証記録誌」（中間報告）（案）について
  - (2) その他
- 4 閉会

### 【配布資料】

- ・資料1 (仮)「宮城県東日本大震災検証記録誌」（中間報告）（案）の構成について
- ・資料2-1 記録誌目次（修正案）
- ・資料2-2 記録誌目次（新旧対照表）
- ・資料3 (仮)「宮城県東日本大震災検証記録誌」（中間報告）（案）概要版
- ・資料4 (仮)「宮城県東日本大震災検証記録誌」スケジュール

## 3 議事要旨

○事務局より議題（1）について資料1～4につき説明を行った後、各委員から御意見をいただき、今後の微調整も含めて、中間報告に承諾をいただいた。

### (1) (仮)「宮城県東日本大震災検証記録誌」（中間報告）（案）について

○事務局より、昨年度から3年をかけて取りまとめることとしている(仮)「宮城県東

日本大震災検証記録誌」(以下、「記録誌」という。)について、改めて説明するとともに、記録誌(中間報告)及びその概要版の構成について説明した。(資料1)

また、記録誌(中間報告)のとりまとめにあたり、追加、修正、移動を行った目次項目等及び、記録誌(中間報告)概要版の内容について説明した。(資料2-1, 2-2, 3)

さらに、今後の記録誌作成のスケジュールについて、記録誌(中間報告)は、部会委員の皆様の御意見を踏まえ平成26年2月末を目途に公開する予定であること、引き続き、国、自衛隊、ライフライン関係機関等の調査等を進め平成26年度に最終報告を取りまとめることを説明した。

- 平川副部長より、第2章第2節「宮城県を震源とする過去の歴史地震と津波」において、2010年2月27日チリ中部地震による津波で被害が生じていることもあり、これについて追記いただきたいこと、また、東北大学の研究において、50cm以上の津波の発生頻度が過去30年に1回程度であることがデータ上明らかになってきたということもあり、これを津波災害の教訓として記録誌に反映いただきたいとの意見があった。さらに、第3章第2節「市町村の初動対応と活動状況」において、避難にあたっての住民意識について、よりリアリティを記録誌にもたせるため、具体的な数字として国土交通省のデータを引用することを検討いただきたいとの意見があった。このほか、概要版7ページにある道路、港湾の復旧にかかる優先順位の決定方法等において、関係機関とどのような連携の中で判断されたのかわかる内容を検討いただきたいこと、概要版21ページにある社会秩序の維持に関し、「窃盗」について追記いただくと、より実態を反映した表現となると考える、との意見があった。

事務局より、津波の発生頻度にかかる記述は平川副部長から研究データを御提供いただいた上で記載を検討する旨回答し、その余の意見については資料精査等を経て検討していく旨説明し、了承いただいた。

- 今村委員より、被害の全体については、第1章第3節「被害の概要」において取り扱い、復旧対応における概要とポイントについては、第4章「応急・復旧対策」において取り扱うなど、記載内容を整理していただきたいこと、また、第2章第4節「事前対策」において、事前対策として有効であったと思われる、例えば自治体と民間事業者が締結していた協定等についての追記を検討いただきたいこと、このほか、第9章「これまでの地震・津波研究と今後の方向性」において、第1章から第8章において取りまとめられた教訓に、どのように今後対応していくかという内容も含めることを検討していただきたいとの意見があった。

事務局より、意見を踏まえ引き続き精査、修正していく旨説明し、了承いただいた。

- 武藤委員代理より、平川委員の意見に関連し、津波により被災した橋梁の数に関し

数値を訂正（3→5）していただきたいこと、また、住民に防災教育を普及させるための取組を記述していただきたいとの意見があった。さらに、緊急輸送道路について、3月11日には知事と連絡が取れ、広域的な輸送路の確保について連携を図っていたこと等の説明があった。

事務局より、記述されているデータを再確認すること、防災教育に関しては第8章で整理する旨説明し、了承いただいた。

- 佐々木委員より、県作成DVD「東日本大震災～宮城県の記録～」について、他県から当町に視察にこられた方から配布希望があり、これに対応いただきたいとの申出があった。

石森部会長代理より、事務局において検討する旨回答し、了承いただいた。

- 花海委員より、第3章第4節「消防機関の初動対応と活動状況」において、本震災において、初動から活動を始めた消防団の活動について残すことが必要であると思われるため、記述することを今後検討いただきたいとの意見があった。

事務局より、意見を踏まえて県消防課等と相談し記述を検討していく旨説明し、了承いただいた。

- 平川副部会長より、後々のためにも、東日本大震災検証記録誌作成にかかる資料、データ等の何らかの保存方法について検討を期待する旨の話があった。

石森部会長代理より、検討を進める旨回答し、了承いただいた。

## （2）その他

（意見なし）